

ご家族の多様な要望を見逃さずまるごとキヤッチ 理想のイメージを具現化したアジアンモダンの家

たった1つのタイルでも
世界中から探して提案

Beハウス・牛久シヨールームの
デザイナー三田村和紀さんの
持ち味は、先進性のある多彩
なアイデアに加え、住み心地の
良さや機能性なども両立しつ、
細部までセンス良く仕上げて
くれること。その優れたバラ
ンス感覚によって今回もまた、お
客様の笑顔を引き出す家づく
りに成功しています。

◆
三田村●久保田邸のチーフブ
ランナーは奥様。いろんな雑誌
や広告の切り抜きを集めてき
て「これはこんな風に」と指示を
出し、照明器具や家具などイ
ンテリアについても、あちこちシ
ョップを回ったりインターネット
で調べたりして、びったりのもの
を取り揃えられました。

侑子さん●ベースはアジアンテ
イスト。タイとかバリなどの東
南アジアの雰囲気が好きなので
でも現地そのままの感じではな
く、全体的に落ち着いたあるア
ジアンモダンを目指しました。

弘さん●リビングはアジアンリ
ゾートを意識してすっきりとま
とめ、2階の寝室などはもっと
濃い色調にして、本当のアジア
に近い線を狙っています。

侑子さん●洗面所とトイレだ
けは別空間ですけど、レゲエや
R&Bなんかも好きなので、ほ
かの部屋とは全然違う感じに
して遊んでみようと思いました。

三田村●洗面所のイタリア製
のタイルは、あれにたどり着く
まで、かなりの道のりがありま
した。タイルメーカーのカタロ
グをありったけ用意し、希望
に合いそうなものを探してはサ
ンプルを取り寄せて、「こんな
はどうでしょう」と打ち合わせ
の度に提案していつて。

侑子さん●いちばん嬉しかった
のがあのタイル。紫色はもとも
と種類が少なかったのに、あ
んなにかわいい柄のを見つけて
くれて。取り寄せるのに3カ
月かかるという話でしたが、
それでも付けたかった。

弘さん●僕らが好き勝手に言
ったことを三田村さんが全部
吸収してくれて、欠けていた部
分も補って、全体をうまくまと
めてくれました。

三田村●予算面ではご主人が
いろいろと頑張ってください、
最終的には200万円ほどの



久保田邸リビング。ソファ正面の飾り棚には大画面TVがはめ込まれています

(左)リビングの頭上に広がる吹き抜け。寝室から張り出した壁のアールがポイントです
(右)キッチンから庭に向かって斜めに張り出したダイニング。日照も考え、空間に動きを出してゆとりが生まれました



久保田さんご夫妻と長男の太陽くん

追加予算も認めていただきこ
とができました。

弘さん●一人、こだわり過ぎの
人がうちにいたので。最初は予
算第一のはずだったので、結局
はデザイン第一になってしまっ
て(笑)。それでも税・諸経費込
みで、2,000万円をちよつ
と超えるくらいでしたか。

侑子さん●おかげで全部イメ
ージ通りになりました(笑)。と
つても満足しています。

(取材/池田充雄)

(左より)●メイクアップルームと呼ぶ方がふさわしい雰囲気
の洗面所。鏡を囲む紫色のタイルは表面がふっくらと盛り上がり、
中にダイヤ型の模様が入っています
●ポ・マリーを描いた玄関ホールの油絵は知人の画家が描
いてくれたもの。壁のゆるやかなカーブが訪れる人をリビング
へ誘います
●寝室。ベッドサイドには壁のアールを生かした飾り棚をつけ、
麻織物調のクロスを張りました
●主屋に隣接して建った久保田邸。玄関まわりのヴィンテー
ジレンガと新製品の木製ドアが存在感を高めています



Beハウス

—デザイナーとつくる家—

<http://www.behouse.jp/>